

25/6/4 名古屋城全体整備検討会議
名古屋市民オンブズマンによるメモ

14:00

姫野整備課長：はじめる

渡辺所長：ご多用の中ご出席ありがとうございます

議題：本丸

報告：2件 水堀、総括

姫野：出席者紹介

瀬口、丸山、小濱、麓、藤井、

三浦欠席

オブザーバー 渋谷、水越

事務局 教育委員会、名古屋城

撮影・録音はここまで

資料の確認

構成員、オブザーバー 現状変更許可案件実績を配布

瀬口：資料に基づき事務局から説明を

議事が1つ

名古屋城：本丸搦手馬出発掘調査

5つの調査区を設定 5/23 石垣部会で議論

当初→拡張した方がよいのでは？

14:18

瀬口：ありがとう

よいか

丸山：全部断ち割るのか？どういう深さまで？

名古屋城：深さ 近世の面まで 場合によっては遺構の性格を把握するため
深く掘ることも想定

丸山：基本は近世まで わかった

瀬口：ほかは

小濱：低石垣の時期は絵図でわからないか？
掘削すると詳しくわかるのか？

名古屋城：金城温故録 今に近い区画
高まりかどうかは絵図上でははっきりしない
石を据えたときの穴 陶磁器類など出土したら遺物年代より後
土層の関係 門 慶長期から絵図にかかれる 同一の土？
具体的な時期が絞れる可能性がある

小濱：出土物で時代判定
絵図はいい加減なところがある

瀬口：他は
境門 石垣がカーブしている 実は直角になっていた？

名古屋城：資料 発掘調査
現況カーブとは別の石が検出
これ自体は古い石垣
ほかにも調査すれば時期が分かる

瀬口：図1 コーナーが描かれていない

名古屋城：金城温故録では直線

瀬口：実は石列がある 当初なら、絵の方には地表に出ていなかった可能性
現在は丸くなっている
近代になってから組み立てられた？
明治30年代直角
曲がっているとすると戦後という可能性もある？ 低石垣は

名古屋城：コーナー部分 車両の関係 戦後カーブさせた？
戦前の古写真 カーブになっていた
戦前のどこかでカーブに作り替えた可能性

瀬口：戦前カーブ写真 昭和7年～20年でなければ
昭和実測図は必ずしも正確ではない

名古屋城：そう

瀬口：道幅は

名古屋城：5メートル

瀬口：この図は3メートルちょっと
2メートルくらい東に拡大している？

名古屋城：金城温故録 東側1条

瀬口：東の方に拡大した？
東には石積みはない

名古屋城：直方体 近代以降に積まれた？

瀬口：近代と考えてもよさそう
低石垣 新しい
境門 控え柱難しいかも
①② 時期
なにか見つかるといいですね

名古屋城：土層の関係 推定はできる

瀬口：図5が正しいとすると、東 低石垣書かれていない

麓：2ページの図 緑
過去発掘調査範囲 どういう目的で発掘されたのか

名古屋城：排水を考える 検出
境門の位置 修景の関係で実施

麓：境門の位置を調べる

南側 石垣付近

北側 礎石があったところまで調査していない

しなくていいのか

境門は確認できたか

名古屋城：直接的なものはない

根がため可能性は 礎石などは一部

明確な位置は確認できていない

麓：緑で終わったと思わず、境門北側 存在しただろうという

範囲全体を調査しては

名古屋城：現状の調査区 北側部分 攪乱がはいっていた

調査区ストップした

麓：現状の調査区の北側？

名古屋城：緑調査区 瓦を敷き詰めたところ

地固めかな？

北は攪乱が現代入っている 北側は見つからないだろう

麓：もともと緑の調査区計画していない？

北側付近も調査予定だったが狭めた？

名古屋城：詳細はわからない

試掘調査を行った

麓：石垣の有無だけでなく、これだけ調べるので

A区緑の範囲 境門を確認できないか調査した方がいいと思った

瀬口：どうか

名古屋城：工事車両の関係 どれだけ車両スペース確保しないといけないか

過去の調査区設定確認したい

瀬口：今回の目的には入っていない

①～④

境門の位置を確定しなくていいのか？

→今後の検討 という返事か？

今回拡大して、含めるのに異議がある？

名古屋城：3枚目 暗渠 東西に走っている

北側攪乱 調査を終えている

調査ができるかどうか検討

名古屋城：北側 確認ができない

発掘調査 このタイミングで進められたら

今回あげたもの承認

北側 検討して提案したい

瀬口：調査区加える？ 切って次回以降？

緊急性があるかどうか

名古屋城：工事車両とりあい確認

調査をして境門跡検出できそうなら加えたい

調べて計画変更 対応させていただけたら

瀬口：今日は結論出ない でいいか？

名古屋城：A-G区 こちらのタイミングで

瀬口：切り離すということ

用水路 南は発掘した

北側 攪乱が大きい

境門調査結果を調べて、発掘調査をするかどうかはかる でいいか

本日提案 A-G区 現状変更になる

進むかどうか判断

藤井：まったく素人

過去の発掘調査 境門は入っているのでは？

名古屋城：想定される場所 境門
片方だけが入っている
遺構が残っているのはわずか東側

藤井：半分くらい？
そのとき発掘調査 門の跡見つからなかった？

名古屋城：Ⅰ号遺構 門の根固め 瓦など
礎石ではない 基礎の可能性

藤井：あらためて門は門で発掘したほうがいい

瀬口：Ⅰ号遺構あたりではないか まで来ている
藤井ご意見 あらためてきちんとやった方がいい
A-G区 現状変更進めていいか
よいということで必要な手続きを進めて
議題は以上 進行を事務局に

14：47

藤井：どこで話せばいいか
前回の灯籠の話
兼六園行った 三本足はない
京都 四本足
石屋 全部四本足
三本足はない
ちゃんと見られては

姫野：庭園部会
事例を収集したい

瀬口：火袋6角形なら3本
もう一回新しい情報を入れて

14：49

姫野：円滑なご進行ありがとうございます

報告水堀

高橋：調査研究センター

水堀 辰之口と南波止場

今回は南波止場

SS3 と SS4

「堀ノ志きり」とは？

4 列機能していた？

「堀ノ志きり」は発見できなかった

SX10 古代中世遺物

中世以前の層

築城期の遺構？ 薄くひかれた礫敷き

姫野：質問は

小濱：石の並び説明いただいた

南波止場 これらの石 どんな役割をしていたか

高橋：かっこたる役割 できなかった

SS4 階段状 水面の高さ 季節や時期で上下しても対応

雁木状

SS2 SS3 わからなかった

SS3 礫を敷いたうえで 上に大きなものを載せても耐えられる

もしかしたら何らかの基礎？

小濱：波止場だから階段状に石

構築物があったかはわからない

麓：「堀ノ志きり」丁場割図

石垣を構築するときの工事と関係がある

SX10 SS3 SS4 よりだいぶ低い

根石と比べるとレベルは

根石との関係で見ると、「堀ノ志きり」の意味が理解できるかも

高橋：確固たる根石は出していない

以前の調査 根石の可能性出している

だいたい同じ高さで SX10 広がっていた

麓：石垣を築くとき 堀がどうなっていたか
レベル関係 「堀ノ志きり」理解するのは難しい

高橋：ありがとう

15:04

姫野：よろしいか
続いて総括

名古屋城：令和5年6月3日差別事案 木造復元立ち止まっている
約2年 ご議論いただいていない
令和6年9月18日最終報告
総括を取りまとめた
概要説明の前に経緯
現天守解体と復元 基本計画とりまとめ
第55回ご議論 おおむね取りまとめ
バリアフリー方針 一部課題を残していた
令和5年8月ごろ 文化庁に提出できるよう
市民からの意見聴取の場 差別事案を生じさせた
「検証や総括が終わらない限り進めない」
検証が進められた→最終報告
総括として全体を振り返った
5月15日に報告した
資料をご覧ください
概要
1. 目的
2. 受け止め
人権配慮が不十分
3. 振り返り
全体を振り返る
①文化庁見解に対する誤った認識と不十分な議会報告
②調査検討不足
③石垣調査・体制不足
④解体申請調査検討不足

⑤

⑥

4. 原因の整理とまとめ

直接かかわるもの

市内部の調整不足

人権感覚の希薄

史跡整備の経験不足

情報提供不足

事業是体に影響

スケジュール優先

職員の苦悩や葛藤

5. 今後

市内部の共通認識と円滑なコミュニケーション

人権意識の向上と障害者等当事者との建設的対話

特別史跡内における整備の丁寧な進め方

市民等への丁寧な説明と理解促進・機運醸成

今後 5月 議会へ報告済み

障害者団体等への説明など

事業の再スタートまで時間がかかる

技術的検討を進めていく

全体整備検討会議で議論をお願い

15:15

姫野：ご質問やご不明な点は

小濱：タイムスケジュールは一切書いていない

今後の事業の流れ

どの程度のタイムスケジュールか

名古屋城：スケジュール

これから事業の進め方

障害者団体への説明

いつぐらい まだ言えない

もうしばらくお時間を

小濱：言えないということか わかった

15:15

姫野：そのほかは
事務局からその他

三谷管理活用課長：事業予定について（イメージ）
本丸外の無料化実証実験
最大1か月程度実施予定
昨年度11月名古屋市長選
広沢市長「本丸外の無料化」マニフェスト
指示があった
名古屋城側 城内観覧、運営
秋から冬 1か月 本丸を有料 それ以外無料
入場者数どう推移するか
より親しみをもってもらいたい
無料エリア 名古屋城に行ってもらえるのでは
城内整備を伴う、現状変更許可を伴うわけではない
ご説明をさせていただいた
詳細は今後検討

姫野：質問は
以上をもって終わり
渋谷調査官、コメントは

15:19

渋谷：文化庁
発掘調査 現状変更進めて
搦手馬出發掘調査
令和7年度事業予定 修復に関して
進み具合で発掘調査どうするか
結果石垣修復と搦手馬出修景をからめて
今回発掘現状変更出さないと修復できない
イメージ 大きな流れ
一つ一つの事業 議題からんでいる
天守閣整備事業 大きくまとめていただいた
引き続き事業を進めるべく様々な方面と丁寧に進めて

水越：愛知県

大変勉強になった

発掘調査行われている

調査結果を市民に発表、全体整備情報発信

市民に応援してもらって

引き続きよろしく

姫野：ありがとう

本日も熱心なご議論感謝

以上で終わり

15：23